

WE SUPPORT



河川基金

# 子供たちの 変容を促す 「河川教育」

2019 年度  
河川基金教育助成



【写真提供】大田区立瀬町小学校

選べる **4** つのコース

河川教育とりくみ支援 10  
万円

スタートアップ 20  
万円

アドバンス 40  
万円

河川教育に関する実践的研究 50  
万円



【写真提供】宇城市立海東小学校

応募要項等河川基金の  
詳細は HP をご覧ください。

河川基金

検索



公益財団法人  
河川財団

# 河川基金による教育助成

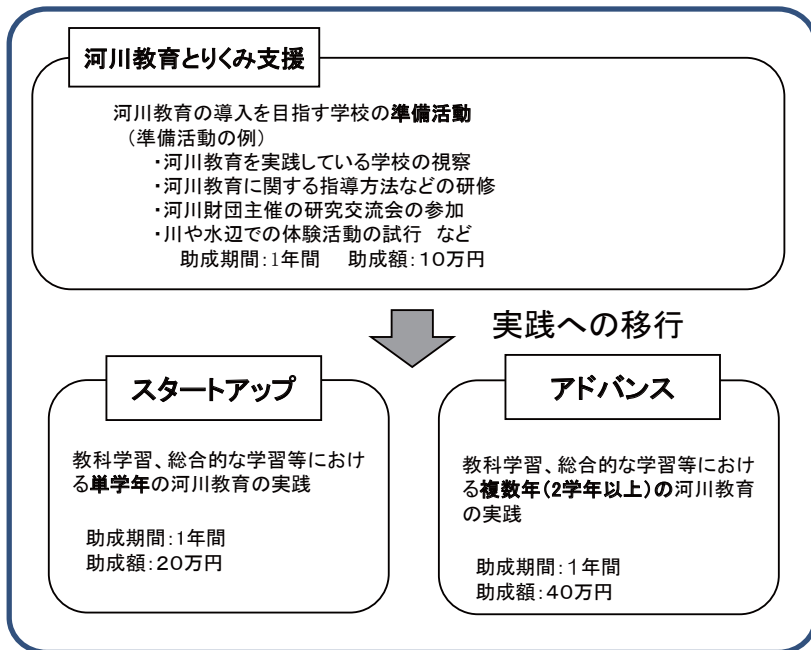
河川基金では、川や水を題材にあるいは水辺での体験学習を通して、環境や防災、地域の歴史・文化等を学習する「河川教育」に取り組む、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等へ助成を行っています。

これまでに、約 2300 件、約 2 億 5000 万円の学校への教育助成を行ってきました。

## 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等に対する助成

教科学習、総合的な学習の時間等における河川教育の実践と研究を支援します。

### <河川教育の実践>



## CASE\_01



【写真提供】大田区立嶺町小学校

### アドバンス

#### 大田区立嶺町小学校（東京都）

大田区立嶺町小学校は、多摩川から校舎までわずか 200m。この恵まれたフィールドを有効に活用し、子供たちにとってより魅力的な教育活動にしていきたいと願い、校内研究に取り組んできました。「多摩川での学習活動が、都会で暮らす子供たちにとっての自然の原体験になる。」「教師も多摩川から学び、子供たちと一緒に多摩川で様々な発見をし、それに感動し、共有する。」というテーマを掲げ、「多摩川から学ぶ活動」を継続して実施しています。

平成 14 年度からスタートさせたこの活動は、現在 1 年生から 6 年生まで全学年が「学びのスパイラル」を意識するカリキュラムへと発展しています。

## CASE\_02



【写真提供】はつしば学園小学校

### 実践的研究

#### 大阪初芝学園はつしば学園小学校（大阪府）

2003 年に大阪府堺市に誕生した新しい学校で、日本最古のダムである狭山湖ダムをはじめ都会でありながら水と緑に恵まれた環境に位置しています。設立当初から水環境学習や地域学習の場として大和川、西除川や狭山池ダムを活用していました。現在は、理科をはじめとする教科、総合的な学習の時間、学校行事、放課後サイエンスクラブなどを有機的に連携させ、実践を通して「はつしばスタイル」の河川教育プログラムの実践に挑戦しています。

### <河川に関する教育研究>

#### 河川教育に関する実践的研究

教科学習、総合的な学習等における、河川教育に関する実践研究や、川や水を題材にした教育研究活動

- ・河川教育に関する実践研究
- ・川や水を題材にした新しい教育プログラムの開発
- ・川や水を題材とした単元又は教材の開発

助成期間: 1年間  
助成額: 50万円

- ・幼稚園・保育所・認定こども園等に対する助成もあります。(期間: 1年 助成金額: 10万円)
- ・中学校・高等学校におけるクラブ活動は、「研究者・研究機関部門」のジュニア研究者(クラブ活動)からご応募ください。

### 問い合わせ先

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町 11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル 2 階

公益財団法人 河川財団 基金事業部

tel.03-5847-8303

e-mail. kikin-toi@kasen.or.jp

www.kasen.or.jp/kikin/